

釧路川の水害に備え「水害タイムライン検討会」発足

釧路川外
減災対策協議会

釧路川で水害発生のおそれがある際に、早い段階から関係機関が連携して地域住民および防災対応者の安全確保を図るための事前防災行動計画作成に向けた検討会が発足されました。

釧路川標茶地区では平成30年夏からの運用を目指し、12の関係機関が検討会に参加しています。

- ・実施日 平成29年11月21日（火）
- ・参加機関 標茶町教育委員会、標茶消防署、標茶消防団、標茶町土木建設業協会、標茶町自治会連合会、弟子屈警察署、陸上自衛隊釧路駐屯地、釧路総合振興局、弟子屈町、標茶町、釧路地方気象台、釧路開発建設部

1回目となる今回は、昨年大雨の振り返りやタイムライン防災を学ぶなど、勉強会形式で開催されました。



検討会の様子

検討会での意見など

- ・避難勧告等の発令タイミングや事前防災行動の確認など、関係機関との顔が見える関係構築に期待
- ・標茶地区をケースとして、他の町でのタイムライン作成の参考になることに期待（水平への展開） など



H28. 8大雨による標茶町で避難勧告が発令され、744人の住民が避難所へ避難（標茶町副町長による昨年の振り返り）

水害の取組に高い関心！

検討会の様子は、新聞3紙やTVニュースで報道され、釧路川の水害の取組に対する高い関心力を感じました。